



兵庫県議会議員

## 橋本なるとし

色とりどりの花に春を感じる日々、いかがお過ごしでしょうか。能登半島地震の被災地ではまだまだ復旧の途上であり、避難生活も長期にわたっています。引き続き心を寄せていきたいと思えます。県議会では2~3月に第366回定例会が開催され、令和5年度補正予算関係、令和6年度当初予算関係、知事提案の条例案や県政改革方針の変更案など136件の議案と、請願や意見書などを審議しました。私が所属する「ひょうご県民連合」では、会派として当初予算に対する修正案を提出しました。橋本なるとしは2月26日に一般質問を行い、7項目について当局の見解を質しました。今号では、主にこの質問と答弁の詳細をご報告します。

兵庫県議会第 366 回定例会 審議日程：2024年2月15日~3月22日

一般質問の  
当日の様子は  
こちらから



知事は一般会計2兆3390億円をはじめとする令和6年度当初予算案を議会に提出し、活発な質疑が行われました。「ひょうご県民連合」は、当初予算のうち約5億円の県立大学無償化の費用を、国公立・私立大学や専門学校も含む高等教育への支援に充てるため、修正案を提出し原案に反対しました。年間の高校卒業生約4万2千人に対して、県立大学への進学者は約700人とわずか1.7%にすぎず、制度完成時には毎年23億円程度の予算を投入する事業としては公平性に欠けると判断したためです。修正案では、国の高等教育就学支援制度を拡充し、世帯年収500万円までの大学や専門学校等に進学する学生に給付型奨学金を支給できるよう提案しました。

### 1 在宅介護を支える介護人材の確保対策について

質  
問

在宅介護の現場を支えるヘルパーの有効求人倍率は15.53倍、ケアマネは3.69倍と人材不足が深刻化している。そんな中で令和6年度の介護報酬改定により訪問介護事業の基本報酬が約2%引き下げと発表された。介護人材が枯渇すれば介護離職の増加など社会経済への影響は甚大。県としての対策は？

在宅高齢者の安心のため、ケアマネやヘルパーの確保・定着が必要。そのため、ヘルパーについては中高生への出前授業からOJT研修、介護福祉士の取得支援などに取組み、ケアマネについては更新研修の受講料軽減やオンライン研修、ICT導入支援による負担軽減などを実施。介護報酬改定では基本報酬は引き下げだが、処遇改善の加算率が高く設定されているため、セミナーの開催や社労士による助言・指導による加算取得の促進などに取り組む。

答  
弁



県政を運営していく上で、当初予算の議決は大きな重みがあります。今回「ひょうご県民連合」が提出した修正案は、県立大学の無償化に対する対案を提示するもの。高等教育の無償化を進めるといった目的は共有しますが、知事提案の内容は、①対象者が少なすぎる公平性の問題、②議論が不十分で成果目標が不明確なガバナンスの問題があり、認められないと判断しました。修正案は否決されましたが、議論に一石を投じる役割は果たせたと考えます。



第4回県政報告会  
開催のご案内

日 時：2024年4月29日(月・祝)15:00~16:30

場 所：橋本なるとし事務所(宝塚市野上2-4-15)

申 込 先：hashimotonarutoshi@gmail.com

※ 席確保の都合上、事前にお申込みをお願いします。

## 2 交通渋滞対策の今後の展開について

質問

県の渋滞交差点解消プログラムにおいては、宝塚市内においても歌劇場前交差点など4か所を選定し、対策を実施または検討している。一方、県道尼崎宝塚線の完全4車線化によって宝塚ICへのアクセスが改善し、西宮方面からの車両を武庫川新橋方面へ誘導すれば、宝塚市役所前交差点の渋滞解消にも効果があると考えます。今後の渋滞対策の展開は？

信号待ち回数3回以上の箇所などを渋滞交差点と位置づけ、バイパス整備、右折車線や誘導看板の設置などハード、ソフトの両面で対策を実施。より効果的な対策を進めていくため、ETC2.0による車両の位置情報を活用し、宝塚市役所前交差点も含め、渋滞個所の分析、見直しを行っている。さらに令和6年度予算では、スマホ位置情報データを活用したより詳細な分析も行い、交通経路を分散させるなど交通需要マネジメントにも生かしていきたい。

答弁



## 3 JR 武田尾駅のバリアフリー化について

質問

宝塚市内で唯一残されたバリアフリー未対応のJR武田尾駅は、西谷地域の玄関口として重要。現在、駅周辺も含めた基本構想を策定し、エレベーター設置も含め国庫補助を活用した事業化が進んでいるが、エレベーター設置は6~10年以内の完了を目指すとのこと。早期実現に向けて県の取組みは？

地元市がバリアフリー基本構想のなかで重点整備地区に位置付けた場合、事業主体であるJRの負担がゼロとなる制度の活用するよう、県から宝塚市とJRに働きかけた。現地は既存擁壁の撤去や岩盤の掘削が必要だが、スペースが狭く大型重機の使用が難しく、工事は長期間を要する見込み。今後、工期短縮に向けた工夫を求めるとともに、バリアフリートイレ等の先行整備を働きかけていく。

答弁

## 4 投資名目の詐欺防止のための対策強化について

質問

投資名目で勧誘しつつ、集めた資金を配当金と偽って横流しするポンジスキームといった手口が横行し、投資や副業に関心のある若年層から高齢者まで被害が続出。SNSを通じて「絶対もうかる」などの広告はよく見かけるが、マルチ商法的な手法で、被害者が巻き込まれ加害者にもなるケースもある。県警としての課題認識と対策は？

全国の令和5年の詐欺被害額は前年比1.9倍の約1626億円、うちSNSを使った非対面型の投資名目詐欺は県内で約260件、被害額は約27億9000万円と極めて憂慮すべき事態。県警として各種SNSへの投稿など広報啓発に努めるとともに、金融リテラシーの向上など関係機関と連携して若年層への注意喚起にも取り組む。また、知能犯担当の捜査二課に加え、組織犯罪対策の面からも犯罪グループ検挙に力を入れる。

答弁

## 5 公共交通事業従事者の確保対策について

## 6 新型コロナウイルス感染症対策の検証について

## 7 部活動改革の推進について

●学歴：宝塚武庫山幼稚園 / 宝塚第一小学校 / 大阪教育大学附属池田中学校・高校 / 京都大学法学部卒

●職歴：宝塚市役所 / 衆議院議員桜井シュウ秘書 / 兵庫県議会議員（2023年4月～） / 立憲民主党兵庫県連 政務調査会長

発行元：兵庫県議会議員 橋本なるとし

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上2丁目4-15

0797-26-7588 / 0797-26-7589(FAX)

hashimotonarutoshi@gmail.com

https://hashimoto-narutoshi.com



橋本 なるとし

検索